

8月15日は「戦没者を追悼し平和を祈念する日」

伝えていこう

戦争の恐ろしさ悲惨さ

市では、核兵器の廃絶や恒久平和を願い、2つの平和都市宣言を行っています。また、平和のシンボル折り鶴を広島・長崎に届ける「折り鶴平和プロジェクト」を実施しています。

平和都市宣言のまじ

昭和20年8月に広島・長崎へ投下された原子爆弾は、一瞬にして多くの人命を奪い去りました。終戦から70年以上たった今も後遺

症に苦しんでいる人々があります。

しかし、世界各地では、現在も紛争や国際テロが発生していて、核兵器の保有を続ける国があるだけでなく、新たに保有しようとする国が出現するなど、依然として核兵器の大きな脅威が存在します。

市では、非核三原則(日本は核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず)が完全実施されることを願い、平成7年2月21日に「非核平和都市宣言」をしました。

また、昭和33年10月31日には、自ら永遠の平和都市となることを決意し、「世界連邦平和都市宣言」をしています。

戦争体験を伝える活動

小学生への平和啓蒙

子どもたちに平和の尊さを学ん

でもらおうと、市内の小学校で平和啓蒙事業を行っています。ここでは、映画サークル「つばさ」による平和映画の上映や、戦争体験者による講話が行われます。

戦争体験者に聴く

太平洋戦争中に東京と千葉で空襲を体験した2人から当時の話を聴きます。参加を希望する人は当日直接会場へ来てください。

日時 8月10日(木) 午前10時～11時30分

会場 赤坂ふれあいセンター

被爆写真展

平和の尊さと核兵器の廃絶をテーマに、原子爆弾投下直後の惨状を記録した写真パネルが展示されます。

会場と期間

○市役所1階ロビー…8月7日(月)

まで 午前8時30分～午後5時15分

○ボンベルタ成田店5階中央エスカレーター付近…8月8日(火)～16日(水) 午前10時～午後9時

折り鶴平和プロジェクト

市では、市民が手作りの折り鶴を広島・長崎に届ける「折り鶴平和プロジェクト」を平成21年から実施しています。

これまでに市に寄せられた折り鶴は約113万羽に達しました。

今年も市内11中学校の生徒の手で折られた鶴をはじめ、市民の皆さんから数多くの折り鶴が寄せられました。集まった折り鶴は、高齢者クラブなどの大勢のボランティアによって千羽鶴に束ねられました。

折り鶴平和使節団

市では、市内の中学生11人で構成される「折り鶴平和使節団」を長崎市へ派遣しています。

団員たちは、平和祈念式典への参加、同世代の生徒たちとの平和学習など、被爆地でなければできない貴重な体験を通して、平和の尊さ、戦争の悲惨さ、そして核廃絶の必要性を学びます。派遣後は、その体験を同じ学校



今年度の折り鶴平和使節団

の生徒をはじめ多くの市民に伝えることで、市民の平和に対する意識を高めることが期待されます。

平成29年度の折り鶴平和使節団の団員は次の通りです。

- 加藤真桜さん(成田中学校)
 - 藤田梨央さん(遠山中学校)
 - 小海川夏波さん(久住中学校)
 - 京増優弥さん(西中学校)
 - 長沢陸さん(吾妻中学校)
 - 鈴木梨杏さん(玉造中学校)
 - 米山晃平さん(大栄中学校)
 - 土屋まどかさん(公津の杜中学校)
 - 石田玲亜さん(下総みどり学園)
 - 笠原瑞月さん(成田高校付属中学校)
- ※くわしくは文化国際課(☎20・1534)へ。

長崎の平和祈念式典会場に供えられた千羽鶴

